



「代官山 米花」

東京都渋谷区猿樂町十八の八

ヒルサイドテラスF棟地下二階

☎03 (5489) 7589

営業時間 11時半～14時 18時～22時 (L.O.)

定休日 11月曜日

を設け、自治体などと提携しながら、地域で活躍するトラベルヘルパーを全国に増やしていきたいと思っています」

「あゝえる倶楽部」が手掛ける旅には、年齢や要介護度による制限はなく、本人が行きたいという意思を持つていること、家族の同意があること、医師の許可があること、この三つの条件を満たしていれば、たとえ要介護五の寝たきりの方でも百歳を超えた高齢者でも依頼することができます。担当のトラベルヘルパーが利用者の身体状況やニーズを徹底的に聞き取り、打ち合わせを重ねながら一緒に作っていく世界で一つのオーダーメイドの旅は満足度が非常に高く、利用した約七割の方がリピーターになられるのだそうです。

「一度行くと皆さん喜ばれますし、自信もつくので、今度はここに行きたいという次の欲求が出てきますね。テレビが一番の友達だという一人暮らしの方や、寝たきりで毎日施設の天井ばかり見ている方が、生活の一部に外出や旅の計画を入れることで、それを楽しみに日々を暮らし、嫌がっていたリハビリに前向きに取り組むようになる。」旅は心と身体のリハビリ“でもあるのです。同時に、本人はもちろん家族も元氣になられます。家族は近すぎてどうしてもわがままが出てしまうけれど、私たち第三者が入ることで、お互いが程よい距離で接し、本人もちょっと頑張るようになる。すると、周囲の雰囲気も変化していきます。介護で家族関係まで悪くなっているような方々にぜひ利用して頂きたいです。介護が持つ暗さを旅行で明るくできたらいいなと思いますね」

国内旅行や海外旅行など様々な旅に対応できるように。た今でも、実は一番多いのは「死ぬまでに、故郷に帰って墓参りをしたい」という切実な願いなのだそう。 「行きたい」「行かせてあげたい」と思っている人のために、こんな旅があるのだということをもっと広く知らしめていきたいと語る篠塚さん。超高齢社会を迎えた日本において、介護旅行のニーズは今後ますます高まるのではないのでしょうか。